

0歳・1歳クラスで高熱がでるお子さんが増えています。受診し下記の診断をされています。
高熱が続き、熱性けいれんや髄膜炎なども注意が必要です。他のお子さんにも健康観察をお願いします。

2021. 11. 26 (金)

ヘルパンギーナ			
主な症状	潜伏期間	感染経路	登園のめやす
・初期は高熱、咽頭の痛み ・咽頭に発赤疹→水疱→潰瘍 ・無菌性髄膜炎が合併することもある	3～6日	飛沫 経口 接触	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること

クラス名	ちっち	ぐんぐん	にこにこ	わいわい	らんらん	すいすい
人数	1	1 (疑い)	0	0	0	0

★ 通常は春～夏に流行しますが、今年は秋以降に九州から発症始め、千代田区界限でも流行り始めています。

★ ワクチンはありません。一般的な予防（手洗い・おもちゃの消毒など）をします

★ 回復後の飛沫や鼻汁から1～2週間、便からは数週～数か月間ウイルスが排泄されるので注意が必要です

★ 発症した場合には、有効な治療法はありません。多くの場合、2～4日の自然経過で治癒します

★ 症状があったら、受診の際に「園でヘルパンギーナのお子さんがいたこと」をお伝えください
★ 上記の診断をされたら、園にお知らせください。再登園時に「登園届(保護者記入)」が必要です